

2015年9月10日

各位

三菱重工業株式会社
双日株式会社
ヴィエティンバンク

三菱重工業と双日およびヴィエティンバンク
ベトナム国交通運輸省と ETC システムの統合に向けた実証事業に関する覚書を締結

三菱重工業株式会社（以下、三菱重工業）と双日株式会社（以下、双日）およびベトナムの国営大手銀行の一つであり、三菱東京 UFJ 銀行が約 20%を出資するヴィエティンバンク（VietinBank : Vietnam Joint Stock Commercial Bank for Industry and Trade）は、ベトナム国交通運輸省と、ベトナムの高速道路における ETC システムの統合に向けた実証事業を推進するための覚書を締結しました。



【調印式風景】

現在、ベトナムでは ETC システムの導入が進みつつありますが、その通信方式は、Active DSRC 方式（※1）、Passive DSRC 方式（※2）、RFID 方式（※3）の 3 種類が混在しており、これらの統合が課題となっています。今回の実証事業では、ベトナム南部のホーチミン市郊外において、各種 ETC システムのデータ収集および統合 ETC システムの開発を行います。また、三菱重工業、双日、ヴィエティンバンクの 3 社は本実証事業を通じ、ベトナム国交通運輸省の支援を得ながら、高度道路交通システム（ITS : Intelligent Transportation System）に関わる新規事業の創出をはかります。

現在のベトナムの自動車登録台数は約 200 万台となっていますが、新規登録台数は年間約 15 万台と増加の一途をたどっています。ベトナム政府は、将来の自動車社会への移行を見据え、2008 年 12 月に高速道路マスタープラン（22 路線、総延長距離：5,873km、総投資額：480 億米ドル）を策定しました。このマスタープランでは来るべき自動車社会をより安全で快適なものにする高速道路 ITS の導入も計画されており、今後、交通管制システム、ETC システム等の整備が進んでいくことになります。

三菱重工業、双日、ヴィエティンバンクの 3 社は、実証事業を通じて培ったノウハウを活用し、将来のベトナムの道路交通の発展に貢献していきます。

- ※1 5.8GHz 帯を用いてインフラと車載器による同時双方向通信を行う方式
- ※2 5.8GHz 帯を用いてインフラと車載器による交互双方向通信を行う方式
- ※3 RFID(Radio Frequency Identification)タグを用いた課金方式

以上

【本件に関する問い合わせ】

三菱重工業株式会社 広報部広報グループ
双日株式会社 広報部報道課

TEL:03-6716-2168

TEL:03-6871-2581